



お囃子と音頭上げを披露する巽町組

秋まつり講演会

7月2日、久慈秋まつり講演会が久慈中学校で開催され、同校の生徒約480人が地域の伝統や祭りの魅力について学びました。講演では山車組のひとつ、に組の嵯峨崇さんが秋まつりの歴史や伝統行事に携わる自身の思いなどを紹介。久慈市の「秋まつり」を将来に継承するために一緒に考える機会にしてほしいと伝えました。巽町組はお囃子と音頭上げを披露。組頭の日形井勇人さんは「講演会を通じて一人でも多くの生徒が秋まつりに参加し、伝統行事を継承してほしいです」と語りました。



表彰状を掲げる多田所長（中央）

安全運転の取り組み表彰

7月10日、運転記録証明書を活用して安全運転・交通事故防止に努めた事業所を表彰する、「優秀安全運転事業所表彰」が久慈警察署で行われました。

1月から4月末の無事故・無違反率等が基準を満たした事業所を表彰するもので、市内では佐川急便(株)久慈営業所と北東北福山通運(株)久慈営業所が金賞を受賞。表彰を受けた佐川急便(株)久慈営業所の多田壽昭所長は「ドライバーへの対面点呼やコメンタリー運転の徹底が今回の受賞につながったと思います。これからも安全を最優先に運営していきます」と話しました。

キャリアオーケストラ見学者を募集

INFO

関久慈地域キャリア教育実行委員会(企業立地課) ☎75-3891



昨年度のブースセッションの様子

キャリアオーケストラは、久慈地域の中学2年生を対象に行われる地域企業の合同職業講演会です。11月に市内の事業所等で行われる社会体験ウィークの事前学習に位置づけられており、さまざまな業種の「仕事」や「就労観」を聞くことで、自身のキャリアや将来必要とされる能力について考えるきっかけとなることが期待されています。

▼日時：10月1日(木) 13時15分～16時

▼会場：十文字チキンアンバーホール

申込はQRコードから、または電話で受け付けています。



▼時間：14時～15時30分
(1セッション30分×3回)

■ブースセッション見学

▼講師：若江 眞紀さん(株)キャリアリンク代表取締役

▼時間：13時15分～13時55分

■保護者向け講話(小ホール)

▼時間：13時15分～13時55分

▼講師：若江 眞紀さん(株)キャリアリンク代表取締役

参加する生徒以外の保護者や地域の皆さんの見学も可能ですので、ぜひご参加ください。

場で保護者向け講話とブースセッション見学を実施します。

一助とすることを目的に、会

将来を一緒に考えていただく

就労環境を知り、生徒たちの

地域企業や変化する教育・

保護者等の見学が可能です

知っていますか？認定地域クラブ活動制度

INFO

関学校教育課 ☎52-2155



市では、部活動の地域展開に向けた持続可能なスポーツ・文化活動の環境作りとして、地域住民や団体が運営するクラブを市が認定し、支援する制度を設けています。詳しくは市HPを確認または問い合わせください。

認定地域クラブ活動のメリット

- ① 学校を通して生徒や保護者に情報提供・PRを実施します
- ② 市の体育施設や文化施設の利用に減免措置があります
- ③ 県大会以上の大会参加への補助があります
- ④ 認定地域クラブの活動の従事・指導を希望する教員の意向を踏まえ、兼業員の環境を整えます

クラブ立ち上げ・申請の3ステップ

①体制を整える

- ・代表者(運営の統括)と指導者を決めます
- ・生徒の安全管理や年間指導計画などの作成を行います

②必要書類を準備

- ・実施主体届出書(様式第1号)を記入します
- ※規約、役員名簿、加入生徒名簿を添付

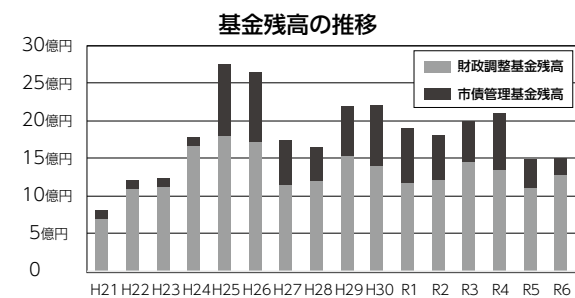
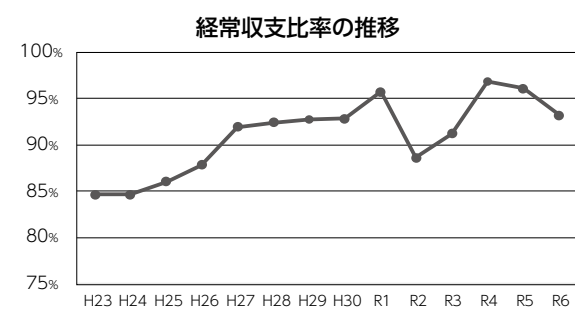
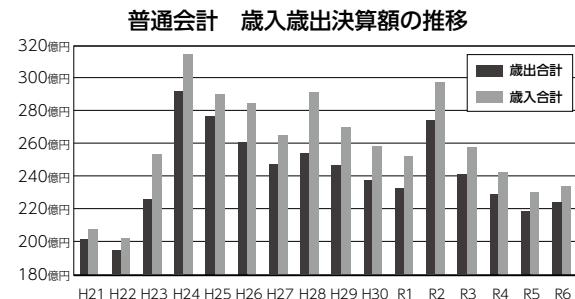
③申請・登録

- 必要書類を久慈市教育委員会に提出し、要件を満たしていれば登録完了です
- ※登録は年度ごと

久慈市の財政状況

市では、持続的な行政運営を見据え、収支均衡に向けた取り組みを進めています。近年の状況を踏まえた財政状況の見通しをお知らせします。 関財政課 ☎52-2113

市財政の現状



■予算規模

東日本大震災以前、市の予算規模は約200億円前後で推移していましたが、復興事業による増加を経て、台風災害や新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策等により高止まりが続いています。近年は、久慈湊小学校移転改築事業や小屋畑川切替工事等の大型事業の実施に伴い再び予算規模が拡大しており、令和8年度は当初予算の時点で221億7,100万円となっています。

■経常収支

人件費や扶助費(乳幼児医療費、児童手当、生活保護等)、公債費(借入金の返済等)など、毎年度固定的に支出される費用を経常経費といい、経常的な歳入に対して経常経費が占める割合を経常収支比率といいます。市税の減少や物価高騰による経常経費の増加も重なり、市の経常収支比率は90%以上で高止まりしています。経常収支比率が高い水準となると、市の裁量で事業を展開するための政策的経費を確保できず、政策の自由度が低下するほか、公共施設の維持等にも支障が出るおそれがあります。

■基金残高

市の貯金にあたる基金の残高も減少傾向にあります。近年は、経常収支比率の上昇等により毎年6～7億円程度の基金を取り崩して予算編成を行っている状況です。令和7年度末の財政調整基金及び市債管理基金の合計残高は14億6,051万円となり、財政健全化に向けた取り組みが急務となっています。

今後の取り組み

市の現状は、新規事業の追加など、行政サービスの拡充に使える政策的経費の支出が困難な状況にあります。今後、持続的な行政運営に向けては、財政健全化による支出削減を進めるとともに、自主財源確保による収入増加に努め、「収支均衡」を目指していく必要があります。

市では、7つの財政健全化重点項目を定め、令和7～9年度の3年間で収支均衡を目指す取り組みを進めています。期間中の歳出削減・歳入確保の効果額5.5億円を目標としており、令和8年度当初予算編成時点の効果額は4.7億円となっています。

引き続き、持続的な行政運営に向けて財政健全化と自主財源確保の取り組みを進めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

財政健全化重点項目の概要	効果額(目標)	効果額(R8時点)
事務事業経費の削減 予算編成過程における経常一般財源の削減	3.0億円	2.4億円
市有財産の売却・利活用、ふるさと納税等の強化 公共施設のネーミングライツを実施	1.0億円	0.02億円
使用料・手数料の見直し 使用料の見直しを実施、減免基準見直し検討	0.2億円	0.16億円
補助金・負担金の整理・合理化 団体運営補助金、イベント補助金等を圧縮	0.2億円	0.15億円
公共施設の整理・合理化 公共施設の廃止・民間移譲	0.5億円	0.15億円
職員人件費の抑制 時間外勤務手当の縮減	0.4億円	1.5億円
市債発行額の抑制 公共事業の圧縮により起債発行額を抑制	0.2億円	0.3億円